

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
国際法	坂本 一也	講義	4		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>政治的、経済的な利害対立が厳しい国際社会においても、国家間の円滑な関係を維持するために、各国家が従うべき規則―「国際法」―が存在しています。</p> <p>この授業では、この「国際法」の性質や特徴について検討した上で、その具体的な規定内容について考察することにします。</p> <p>授業を通じて、最近のニュースで取り上げられている国際問題などを法的な視点から考える力の涵養を目指します。</p>						
到達目標	<p>①国際法の性質や特徴を踏まえて、国際法に関わる基本的な知識を習得して、説明できること。</p> <p>②国際問題に関心を持ち、それらを法的な視点から論理的に考える思考方法を身につけること。</p> <p>③授業で習得した知識や能力等を用いて、自己の見解を文章によって表現できること。</p>						
回	学習内容	回	学習内容				
1	講義ガイダンス（国際法とはどのような法か）	16	日本の領土問題				
2	国際法の歴史的展開	17	海の国際法①（海洋法秩序）				
3	国際社会の構造と国際法の特徴①：執行	18	海の国際法②（海洋権益をめぐる対立）				
4	国際社会の構造と国際法の特徴②：司法・立法	19	空と宇宙の国際法				
5	国際法の法源（国際慣習法を中心に）	20	国家の国際責任①（成立要件）				
6	条約法①：条約の制定過程・解釈	21	国家の国際責任②（責任追及・解除の方法）				
7	条約法②：条約の効力・留保	22	紛争の平和的解決				
8	国際法と国内法の関係	23	紛争の司法的解決（国際司法裁判所）				
9	国際法における主体	24	国際法上の個人の地位①（国籍・外国人）				
10	国家の要件と国家承認	25	国際法上の個人の地位②（難民）				
11	国家の基本的権利義務①（主権平等原則）	26	戦争・武力行使の違法化（武力不行使原則）				
12	国家の基本的権利義務②（国家免除）	27	自衛権と国連における集団安全保障				
13	外交・領事関係法	28	武力紛争法・国際人道法				
14	国家領域とその機能（領域主権）	29	まとめ（国際法とはどのような法か（再考））				
15	国家領域の取得権原	30	試験・終了後に、法的視点からみる国際問題				
予習内容 復習内容	<p>授業で使用するレジュメは事前に配布しますので、理解できない言葉などを学習してください。各回の授業でコメント・事例課題等を出しますので、それを用いて復習してください。</p>						
教科書	<p>教科書は指定しません。</p> <p>国際条約集（出版社は問いません）を持参してください（ネットで検索することもできます）。</p>						
成績評価	<p>試験（70%）、授業の際に提出を求めるコメントシートへの取組み・授業内での発言（30%）で評価します。</p>						
実務経験							
その他 特記事項	<p>授業中の質疑応答に積極的に関わってください。また、新聞などの国際面に目を通して、今起きている国際問題などに興味を持ってください。</p> <p>質問などがあれば、授業終了後に受け付けます。</p>						